

銀漢亭日録



伊藤伊那男

6月11日(土)

▼リアップは止めたが、てる緒さんが洗髪前にマッサージせよと椿油をくれる。坪井さんが10日で毛髪が太くなったと。ほんと？ また、追遊さんが養毛トニックくれる。でも毛の無い人からもつても……。10時、発行所にて運営委員会。現在同人58人。会員1555人。計213人。購読会員82人。合計295人。会計報告。御嶽鍛錬句会の誌上総選挙企画。小諸日盛句会、9月吟行会。秩父夜祭吟行の件など。13時より麹町会館にて「銀漢本部句会」40人。17時より「さくら水産」にて親睦会20人。帰宅して22時に寝る。

12日(日)

▼角川添削教室5人分「銀漢」8月号の選句を進める。夕方、買い物兼ねて渋谷に出て酒場2軒ほど。酒は控え目に。

13日(月)

▼片山一行氏の父上・辰巳氏、宇和島より上京にて歓迎会。氏は、川柳作家で、この度、愛媛県川柳大会最優秀県知事賞受賞の祝いを兼ねて15人程。秋葉男さんが八海山、淳子さんが赤飯、安田さんが卵焼、辰巳氏が宇和島のじやこ天、ちくわ、小野寺清人さんの兄上、信さん、仙台にて弁護士が丁度上京。厚切牛舌など持寄り。

14日(火)

▼店の電球LEDに変える(レンタル)。超結社句会「火の会」10人。太田うさぎ、雷魚、菊田平(豆の木)、山田真砂年(未来図)、遠藤由紀子(未来図)、梅田津(銀化)、飯田眞理子(銀漢)、卓田謙(りの)、天野小石(天為)、広渡詩乃(朝)、遅れて敦子さんも選句に。玲奈さんも。兼題は、梅雨一般、源、汁で7句。

15日(水)

▼8月号選句終了。店は「三水会」。少なく6人。発行所は「はてな」句会、敦子、肖子、ふみちゃん、渡辺君、終つて店に。洋酔さん、志峯さん他。賑や。

16日(木)

▼8月号添削教室書く。「銀漢句会」37人出句と。但し欠席投句多し。終つて17人店へ。小野寺信「銀漢」に続き仙台「利休」の牛舌を沢山差入れられる。広渡敦雄氏仕事仲間2人。天野小石さん第2句集「花源」出版。銀漢の仲間に配布してくれる。

17日(金)

▼「高速句会」の方々が発行所を見たいと8名で上京。在京の準備。「金星句会」終つて5人。帰路、寝過してつじが丘駅。タクシ。

25日(土)

▼11時店。13時より、「Oh! 納涼句会」32名集合。清人、平さんが気仙沼ホルモン7kg持込み外で焼く。キヤベツ4個刻む。兼題5句のあと3句、3句と句会3回。19時過ぎまで。あと餃子屋に15人位。あと洋酔、展枝、小石、近恵さんと新宿ゴールデン街2軒。2時であつたのか3時であつたのか不明確。あ、またやつてしまった……。

26日(日)

▼2日酔。今井肖子さんよりメールあり。先日購読会員になつてくれた。「銀漢」7月号の「石蛙は季語か」の私のエッセイを読み、母上(今井千鶴子さん・ホトトギス)と話したと。へ虚子は形式季題を認めていたので石蛙でも無季ではないというのが母の意見でした。踏絵めくもその点では同じく……。季の語が言葉として入っていればとりあえず無季ではない。句の良し悪しや、季題が詠めているかそのうしろに季題の存在が感じられるかどうかは別(というかそのあと(の)の問題ということでしょうか)。午後遅くに高井戸の温泉「美しの湯」。寝たり起きたり唸ったり。結局終日一日酔いはつづく。

27日(月)

▼雨。くちなしが匂う。「俳句」8月号の特集で切字について2頁分書く。「湯島句会」出句96人。店に集つたのは約50人。事前投句も進み20時半には披露終了。秋葉男編集長の努力に感謝!

28日(火)

▼暑い! 袖口満さん第2句集「淡海」(9月出版予定)の跋文6枚ほど書く。店閑。23時に閉めて、てる緒さん、いづみさんと餃子屋。

29日(水)

▼暑い。袖口さん来店。跋文渡す。真砂年さん来店。やや淋しい。23時15分閉める。

30日(木)

▼熱帯夜4日続く。15時から野村証券O.B会11人。これまでネットで行つていた句会が、同に会したものの、山元正規さん幹事。終つて17時から店で親睦会。今後、第3金曜日を定例句会に決定。野村証券は私が若い頃、5年間勤めた会社。こうした縁ができて嬉しい。夜、発行所で禪次、松山、眞理子さん銀漢会計の打合せ。あと店に降りて飲酒。

7月1日(金)

▼午前中、6月の店の月次収支表作成。「春耕」同人欄の校正。客足も一つ。

18日(土)

の会員と禪次、大和さんを迎え16人の句会となる。終つて店にて親睦会。追遊、秋葉男さんも駆けつけて親交を深める。他に久々、対馬さん。小島健さん。姉の次男、茂君。7月からベトナムで働く。その他ずつと満員状態。嬉しい限り。

19日(日)

▼10時半、青梅線御岳駅集合35人。「銀漢50句鍛錬会」。雨。御嶽山荘に投宿。13時過ぎから、まず持寄り10句の句会。終つてすぐ席題5句を出し、16時半締切で2回目の句会。次の題を出して夕食。山菜中心の料理。20時より3回目句会。あと事前投句の20句についての披露。終ると0時。朝出句締切の題を出して解散。

20日(月)

▼8時朝食。9時前から句会。10時半に終り、11時から御嶽山神社で行われる雅楽と神楽の見学に。たまたま2回の一般公開に遭遇した機便。雅楽にはすぐ寝てしまふ。神楽の最後に警長姫が紅白の餅を撒いてくれる。戻つて最後の5句出し句会。これで50句全部終了。14時40分お開きとす。15時過ぎのケールカーで下山。有志14人で「玉川屋」(蕎麦に上り打上げ。子鮎の天ぷらよし。最後1句出しの句会。18時まで。

21日(火)

▼彗星集選評書く。「銀漢」7月号発送日。店、19時から、三輪初子さんの俳書展覧会の打上げパーティー20人程。久々、松岡みどり、関根誠子さんなどとう。

22日(水)

▼星雲集選評書く。ひまわり会館にて「銀漢秋句会」途中から選句に顔を出す。和氣諸々の雰囲気、曾谷さん(震災時に花果さんが新宿で帰宅難民中喫茶店で知り合い入会)、梶浦さん「神田タウン誌本の街」銀漢句会報を見て入会の方々が参加。店、オリックス時代の神村君4人。全体お客少な。

23日(木)

▼真夏日。「銀漢」綺羅星集選評書く。かれこれ38年前の新婚時代、広尾の開業医の2階を借りたが、その次男のお嫁さんであつた佐々木さんから電話あり、俳句雑誌で「銀漢」創刊を知つた、購読会員の申込みをいただく。店の入りはちばら。志峯さん鍛錬会よかつた。遅くに「平さん句会」のメンバーと。

24日(月)

▼「銀漢」の俳句、盤水の句他、8月号の執筆全て終了。橋本有史さんの「句句会」10人。他に対馬、洋酔、玲奈、敦子さんなど。

▼作句。角川通信添削教室1枚。角川8月号特集原稿執筆

の与志喜」にて「纏句会」15人。終つて染井の松代展枝さんの新築の家へ。「十六夜句会」あり、そのあとへ合流。16人程と。展枝さんの手作りの料理などで酒盛り。帰路、洋酔、いづみさんと新宿西口の洋酒屋。吉祥寺まで乗り越す。

3日(日)

▼「運河」同人評、4員分送る。散髪。日用品の買物など。夕方、桃子の家。杏一家も来て小生の誕生祝いをしてくれる。焼肉。依型のポテトコロケ……。光代さんがよく作つたもの。しんみり。宮澤は撮影で出張中。

4日(月)

▼「兵六」酒場グループで2年前の7月に亡くなったひとみさんを偲ぶ会。20人程。発行所では勉強会、富安風生について。カウンターでは企画部会議。真砂年さん。遅い時間に盤水先生の甥の皆川文弘さん(会社)の部下と。

5日(火)

▼阪西敦子さんより誕生祝い、水戸の地ビール届く。朱さんと中里さん。健彦、肇、対馬、小石、康代さん。康代さん私の誕生祝とシャンパンのメガボトル。てる緒さんピザ4枚!あと橋本、いづみ、坪井、追遊さん。二日早く盛上がる。橋本さんと「銀漢」対「天為」の俳句バトルの企画提案あり。だんだん具体化。

6日(水)

▼9月号の選句に入る。店、志峯さんが誕生祝としてシャンパンで乾杯してくれる。俳句仲間が多き日。22時半に閉めて10名程で餃子屋。ばつたり小川洋さん来て小石さんの出版記念会の協力要請受ける。

7日(木)

▼「天為」の小川、橋本、対馬、小石さんから誕生祝に生花盛合せ到来。「十六夜句会」からバスデーケーキ。橋本さんシャンパン2本開けてくれる。敦子、鞆彦、松尾、堀切、近恵、玲奈、平、うさぎ、史ちゃん、眞理子さん……。大勢来てくれる。

8日(金)

▼発行所は8月号校正作業。そのあと9月号の編集会議。途中呼ばれて行くところ、バスデーケーキを用意してくれる。皆様有難う! 店はさすがに客少なく23時閉める。

9日(土)

▼10時、発行所にて運営委員会。こころ日盛俳句祭「ひぐらし」里俳行大会「新年俳句大会」と年次総会などについて。梅雨明けと。13時、湯島の全国家電会館にて「銀漢本部句会」46人。あと、「華の舞」にて親睦会。30数名。

10日(日)

▼9月号選句。暑い。昨年までそうだった家が家でクレーン使わず。今年もまた。午後、娘の家に引き昼寝。